

【鹿沼市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」の内容を踏まえ、児童生徒の確かな学びを育む教育の充実へ向けた教師の指導力向上を重点取組として掲げ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進している。

1人1台端末を始めとする ICT 環境を活用し、児童生徒が自分の特性や理解度、進度に合わせて学んだり、学習形態を選択したりすることができるよう授業改善に取り組むことで、学習者中心の学びを目指す。

2. GIGA 第1期の総括

本市では文部科学省による GIGA スクール構想に基づき、令和2年度に全校における通信ネットワーク環境と全児童生徒の1人1台端末を整備した。端末の利活用については、教職員を対象とした ICT 活用研修会を年5回程度実施することに加え、ICT 支援員による活用支援を行っている。これらの取り組みを通して、令和6年度の全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙の結果から、「授業における ICT の使用」に関する項目では、週1回以上利用する割合が小学校では81.7%、中学校では86.9%となり、週3回以上利用する割合が小学校で45.2%、中学校で55.0%と端末の活用が進んでいる。

課題としては、教職員の授業における端末の利活用に個人差があることが挙げられる。その解決へ向け、教職員の研修を充実させる必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第2期を迎えるにあたり、本市としては「1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿」の実現へ向けて、端末の更新やネットワーク環境等の改善を行い、1人1台端末の効果的な利活用を推進していくために、次のことに取り組んでいく。

(1) 1人1台端末の積極的活用を進めるために

授業における端末利用促進を目指し、教職員の実態に応じた研修会を実施する。そして、教職員の ICT 活用能力の向上を通して、児童生徒の1人1台端末の利活用の推進及び情報活用能力の育成を図る。

(2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のために

本市では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実へ向け、以下の取り組みを推進していく。

- ・児童生徒が自身の学びの記録から課題を見つけ、自分の特性や理解度、進度に合わせてながら解決へ向けて学ぶことができる指導体制の構築や教師の授業力向上へ向けた取り組みを継続する。
- ・児童生徒が目的や場面に合わせて ICT を効果的に活用し、課題を発見したり解決したりする力の育成を図る。
- ・教員と児童生徒、児童生徒同士がやりとりを行う場面において授業支援ソフトを効果的に活用し、自分とは違う考えをもった人たちの意見を共有しながら学びを深め広げることで協働的な学びの充実を図る。

(3) 全ての児童生徒の学びの保障のために

学習 e ポータルの「毎日の記録」の活用を推進し、児童生徒の成長の見守りや予兆のみとを行い早期支援につなげるとともに、不登校や特別支援、日本語指導など、様々な困難や悩みを抱える児童生徒への個に応じた支援の手段として ICT を活用していく。